

大道芸アジア月報 2021年10月

郵便振替=00100-3-749814 名義「上島敏昭」
vol. 32、no. 10
編集・発行人 上島敏昭
〒165-0025 東京都中野区沼袋2-31-2
春山荘・東

■大道芸案内

主な大道芸スポット（土・日・祝日など、通年大道芸が見られるポイント）

■大阪・天保山海遊館広場 <https://www.kaiyukan.com/thv/marketplace/>

■大阪パフォーマーライセンス <http://www.osaka-performer.com/index.php>

■名古屋・大須ふれあい広場 ■名古屋 POP UP ARTIST <http://popup-artist.com/index.html>

■しずおか大道芸の街 <http://shimarukai.org/> ■江ノ島大道芸 <https://www.fujisawa-kanko.jp/feature/daidoge.html>

■ヨコハマ大道芸（山下公園、グランモール公園、ジャックモール） <http://daidoge.jp/>

■お台場・デックス東京ビーチ ■みなとみらい東急スクエア ■テラスモール湘南 www.studioeggs.com

■東京都へブンアーティスト www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/bunka/

■仙台まちくるパフォーマーズ <https://machi-kuru.com/performers>

※新型コロナウイルスの蔓延状況により、多くの催しや公演が中止・延期されています。必ず直前に確認してください

★今月の大道芸公演

△【延期】高知大道芸フェスティバル <https://kochi-daidougei.com/> ○高知市中心商店街

●10月2（土）3（日）

idio2、KANA∞、加納真実、桔梗ブラザーズ、シルヴプレ、ゼロコ、ダメじゃん小出、張海輪、to R mansion、バーバラ村田、Performer SYO!、Funny Bones、三雲いおり、Mr.BUNBUN、猫のアーサー

△フランス×日本 現代サカ交流プロジェクト「フィアース5」 <https://setagaya-pt.jp/performances/202110fierce5.html> ○世田谷パブリックアター

●10月9（土）15:00 / 10（日）15:00 / 11（月）19:00

構成・演出：ラファエル・ボワテル 音楽：アルチュール・ビゾン リハーサルアシスタント：吉田亜季、ジュリエッタ・サルツ

出演：皆川まゆむ、長谷川愛実、杉本峻、目黒陽介、吉川健斗、山本浩伸、安本亜佐美

おとな¥4000 こども（4歳～高校生）¥2000、U24¥2000

問合せ：03-5432-1515 世田谷パブリックアター <https://setagaya-pt.jp/>

△ゆめ花マルシェ 2021 <https://yumehana-wam.net/> ○山口きらら博記念公演

●10月9（土）10（日）

△福岡エンタメフェスタ TOPPARAI <https://h-promotion.jimdo.com/> ○ベイサイドホール（福岡市博多区築港本町）

●10月10（日）第1部 13:00～ / 第2部 16:30～

第1部 筑紫珠楽、金谷ヒデユキ、チクリーノ、てのひら、マジシャンマルコ、MIYUKI、ハリー

第2部 TENSHOW、金谷ヒデユキ、和楽団ジャパンマーベラス、パフォーマーCHISHA、マジシャンペガサス、どすこい安部、RINTARO

¥2500（第1部、第2部とも、それぞれ） 通しチケット¥4000

主催：H・プロモーション

△日仏国際共同制作ダンス公演「ゴールドシャワー」 <https://setagaya-pt.jp/performances/202110goldshower.html> ○世田谷パブリックアター

●10月15（金）19:00 / 16（土）15:00 / 17（日）15:00

構想・出演：フランソワ・シェニヨー、磨赤兒

一般¥4500 U25¥2250 友の会¥4000

問合せ：03-5432-1515 世田谷パブリックアター <https://setagaya-pt.jp/>

△世田谷アートの2021 三茶 de 大道芸 <https://setagaya-pt.jp/performances/2021lineup.html> ○キャロットタワー周辺

●10月16（土）17（日）

大道芸 on ステージ（シアタートラム） 両日とも 13:00 & 17:30、前夜祭（15日 18:30）あり

前夜祭(10.15 18:30)：竹内直&Old and New Dream Jazz Orchestra、Jaggler Laby

10.16 13:00 および 10.17 17:30 Kanauknot、加納真実、チャラン・ポ・ランタン

10.16 17:30 および 10.17 13:00 ゼロコ、稲葉国光トリオ、Fanny Bones

事前予約・入場無料（当日券配布はありません）

まちなか探検隊、まちなか写真館も開催

△【中止】第43回大須大道芸 <http://autumn.nagoya-osu.com/chonin/>

●10月16（土）17（日）

△超みの〜れフェス <https://www.city.omitama.lg.jp/0465/info-0000007984-6.html> ○茨城県小美玉市・四季文化館

●10月17（日）開場 12:00 / 予選開演 12:30 / 決勝開演 15:30

〈出演〉 アスタリスクノヴァ、マジシャンいっしん、KAYA、3ガガヘッズ、SUR DE WAVE、鈴木仁、太平洋、マジシャン塚原ゆうき、バカラブ、ハンガ〜マン、JUGGLER MAKI、まさきち

〈ゲスト〉ドラマチック・ガマン

入場無料(要整理券)※3歳以下入場不可 ◆予選/自由席 先着120名まで ◆決選/先着200名まで

整理券はWEBか電話、窓口にて予約してください ◆電話 0299-48-4466 (四季文化館みの〜れ)

△SAPORO PERFORMANCE PARTY 2021 <https://sapporo-performance-party.jimdofree.com/> ○札幌市・札幌駅前通り地下歩道空間

●10月17(日)

La strada company、サクノキ、Naoto、時雨

△街角のヴォードヴィール in シズカン秋 2021 ○静岡市・七間町名店街・コミュニティ七間町・札の辻交差点

●10月23(土) 24(日)

出演: パーバラ村田、加納真実、シルヴブレ、カナル・ペキノワ、サンキュー手塚、Mr.BunBun、Clown Troupe、セクシーDavinci、フェイスペインター☆ミホウ、YEN TOWN FOOLS、オペラ座の道化師みま、タカパーチ、アコる・デ・ノンノン、山作戦、ギタリスト TOMOKO、ルミナツ

△【延期】大道芸ワールドカップ in 静岡 <https://daidoge.com/>

●10月30(土)~11月3(水)

若林正の

食って極楽

テイクアウトどか弁

・・・戸田「ベックちゃんのチキンハウス」

先日散歩と買い物を兼ねて、最寄り駅となりの戸田駅近くを散策した。コロナ前には駅前のハンバーグ屋とか、よく行った。「食べない?」と水を向けるものの、女房は最近では自炊にこだわっていて「ダメ!」。ふと見ると、これもたまに行ったラーメン屋がいつの間にか韓国料理屋に変わっている。「ベックちゃんのチキンハウス」?

店先に出てる看板を見ると、韓国で流行っている何とかチキンやらチーズドッグやらを売る店。テイクアウトだけでなく店内でも食事出来るらしい。看板にはビビンパや焼き肉弁当もあるの、女房に再度おねだり。

「お金出すから〜。買って帰って家で弁当食べよ〜」。

いい年こいてガキみたい。何とかゴネ倒してカルビビビンパを注文。値段忘れたけど700円くらいかな。一つはもちろん大盛り。ところが渡された弁当入りのビニール袋は嵩もでかくて持ち応えが尋常ではない……何これ?

帰宅して袋から出すと、20cm四方高さ7~8cmほどの容器とキムチとコチュジャンの入ったパック。大盛りの容器はずっしり。思わずハカリに載けると、885グラム! 米三合近くあるよ!! それなりに野菜や肉は乗ってるけどオカズ足りないんじゃないの? 食べてみると味も濃くてキムチも美味しく、ペロリ完食。さすが本場の味付けか。女房は食べきれず、その分も食べたから1キロ以上は食ったかも。しかし胸焼けも後からやってきて、夕飯は人並みにしか食べられませんでした。

○この値段で店は続くのか度=5 ワカ

大道芸・見たり・聞いたり・演じたり

☆その 359

平成大道芸年表(18) 2006年

上島敏昭

★小泉内閣から安倍晋三内閣へ

五年間つづいた小泉純一郎が総理を辞任し、安倍晋三内閣が誕生した。10月に戦後最長の景気拡大と報じられたが、成長率はいざなぎ景気の1/5、賃金も下落、失業率も高止まり。実感とはかけ離れていた。一方で民主党はニセメール問題で前原代表が失脚し、小沢一郎が新代表となったが、足並みは乱れていた。

小泉政権時代からの看板政策であった「タウンミーティング」が実際は、質問者を金銭で雇った「やらせ」イベントで会計も不明朗な点が発覚して同事業は廃止、安倍総理は陳謝し給与を返納した。

都知事の石原慎太郎は、トーキョーワンダーサイト事業に、芸術家である四男延啓氏を重用していることに批判が高まった。同事業参与の今村有策・加代子夫妻を通じて延啓氏の作品購入、さらに海外派遣など、不適切な支出を繰り返していた。批判に対して「(今村夫妻は)余人をもって代えがたい」と居直り発言し、世間は呆れ返った。

また、数年前に大騒ぎしてイラクに派遣

された自衛隊は、7月には帰国した。しかしイラクには核がなかったことでアメリカの大義は失われた。また、北朝鮮はミサイルや核実験を繰り返すなど、日本を取り巻く国際環境は複雑さを増していた。

★堀江貴文・村上ファンド、オタク

1月1日をもって三菱東京UFJ銀行が誕生した。世界でも有数のメガバンクである。グローバリズム経済への対応であろう。一方でライブドア社長の堀江貴文、村上ファンドの村上世彰が証券取引法違反で逮捕されたのも、衝撃的だった。会社法の隙間を縫った経済犯罪であり、いずれも新たな時代の到来を感じさせる出来事である。

朝日新聞の正月版では、大きく「カワイイ」を日本の新たな文化として世界が注目、と報じている。そして、8月になるとフランスのジャパンエクスポで、「カワイイ」や「オタク」が人気沸騰、現代日本を代表する文化として認識されるに至った。

Youtube、あるいはヤフオクなどのインターネットが日常に深く入り込んだ年でもあった。音楽などはダウンロードが一般化したため、米のタワーレコードが倒産した。

★日本のジャグリング、世界へ

小沢昭一さんが朝日賞を受賞した。俳優と同時に放浪芸探訪の成果が評価されたものである。

前年、世界に飛躍した日本のジャグリングはこの年、二つの舞台公演に結実した。「リアル・ジャグリング」(こまばエミナース)と「堀の外のジャグリング」(門仲天井ホール)。前者は世界大会で受賞したメンバーによる公演で、会場は超満員であった。後者は矢熊進之助氏が主催する公演で、両者ともより高度なジャグリングの舞台作品を作ることを目指していた。

国立劇場の「語りの世界」、フール祭「笑うからだと笑う音楽」、明治大学の「熊野をめぐる芸能」、仙台での21世紀紙芝居「蛇蝎姫と斬鬼丸」など意欲的な催しも多かった。

出版では、現役の飴細工師・坂入尚文さんの『問道』、サーカスプロデューサー大島幹雄さんの『ポリショイサーカス』、名古屋労音の『伊六万歳』園田学園女子大の『漂泊者の芸能』など、記憶に残る。

またサーカス・マジックポスター展や若松若太夫展も貴重な史料展示であった。

平成大道芸年表:2006年(平成18年)

政治・経済・事件・世相	大衆芸能・大道芸関係
1.1 東京三菱銀行とUFJ銀行が統合。東京三菱UFJ(現・三菱UFJ)銀行。	1.1 2005年度朝日賞に小沢昭一/1.28 受賞パーティに尾張萬歳登場
1.1 「カワイイ」世界に嵐 グウェン・スティファニーライブなどで	1.3 向島・はるこま七福神めぐり
	1.5 NHK昼の「ひるどき日本列島」で向島特集で、浅草雑芸団「はるこま」登場
	1.7-8 第3回さいたま副都心大道芸フェスティバル
1.10 韓国ソウル大学教授・黄禹錫のES細胞に関する論文が捏造と判明	1.9 ヘブンアーティスト in 渋谷
	1.14 「語りの世界」国立劇場 出演：声明、平家琵琶、絵解き、節談説経
1.16 ライブドア事件 (1.23 堀江貴文社長、証券取引法違反容疑で逮捕)	1.15 江東まちかどアーティスト公開審査 江東区
1.23 日本郵政株式会社が設立	1.25-26 山本光洋ソロライブ「かかしになるために」planB
	2.1 福を伝える 飴細工・五十嵐俊介 ①/④/⑤
	オーストラリアー日本ダンシングチェンジ
	2.3-5 オブニング みなとみらいウイーンズサークル 「ストレンジフルート」出演
	2.9-12 The Happy Side Show 横浜 BankArt
	2.4 府中郷土の森博物館特別企画「はるこま」
2.10 イタリア・トリノで冬のオリンピック(～2.26)	2.10-12 クラウンファミリープレジャーB公演 名古屋、東文化劇場
2.11 表参道ヒルズが開業	2.14 中津川の芸能(歌舞伎、文楽ほか)、国立劇場 3.18-19
	2.15 江戸糸あやつりと俳優共演、秋元松代「北越誌」上演
2.23 民主党・ニセメール問題	2.21 ひと：ホスピタル・クラウン・大棟耕介さん
	3.1-5 フール祭「笑うからだと笑う音楽」シアターX
3.3 第一回ワールド・ベースボール・クラシック開催(～3.20)	3.2 歌舞伎「當世流小栗判官」猿之助十八番、国立劇場、3.5-28
	3.4-5 東京都民俗芸能大会、芸術劇場中ホール 出演：江戸太神楽 里神楽
	3.6 前進座「さんしょう太夫」(ふじたあさや作) 3.24-28
3.8 飛鳥浄御原宮殿に、別の正殿跡を発見	3.7 イチオシ! あめ細工師・水木貴広さん
3.9 蘇我一族の宿泊施設か、石舞台古墳近くで建物群跡発見	3.9 紙芝居・森下正雄、喉頭がん後に録音テープで実演
	3.10-27 日本のマジック・サーカスポスター展 市ヶ谷・山脇ギャラリー
	3.11-12 江戸写し絵みんわ座、上方の錦影絵と共演 東京都芸術劇場
	3.11 「江戸の大道芸がやってきた」リバティおおさか 出演：浅草雑芸団、秋田県八郎潟町・願人おどり、住吉大社・住吉おどり
	3.12 「日本の絵解き」サミット 明治大学アカデミーホール 出演：高山山刈 萱堂、道成寺、祖父江善光寺、立山曼陀羅、熊野観心十界曼荼羅、那智参詣曼陀羅
3.14 ネットオークション①～⑤	3.15 結城座、あやつり人形の技術を塾で継承。卒業試演会
3.20 天王洲アートスフィア開幕、4月からホリプロが運営	3.18-19 桐生からくり人形公開 桐生からくり人形保存会
	3.25 第8回獅子舞フェスティバル・横浜 県青少年センターホール
	4.1 第4回若松若太夫独演会 板橋区郷土芸能伝承館
	4.5-6 山本光洋ソロライブ「かかしになるために」 planB
	4.7-9 第52回全国チンドンコンクール(富山市)
4.15 開け! 勝鬨橋。実現可能か模索	4.15-16 晴海トリトン・パフォーマーズ・フェスティバル
	4.18 Shizuoka 春の芸術祭、5.27まで
	4.22-23 横浜・野毛大道芸
4.27 宇都宮市、吉野伊佐男吉本興業社長を特別顧問に、	4.25-6.25 初代若松若太夫展 東村山ふるさと歴史館
5.1 会社法施行	
5.1 米軍普天間基地移転と海兵隊グアム島移転を2018年までに行うと日米合意	
5.2 「九条の会」全国に4700、一年で4倍	5.2-7 六本木ヒルズ・ワールド・ストリート・パフォーマンスフェスティバル
5.5 キトラ古墳壁画展示、奈良・飛鳥資料館春季特別展 5.12-28	5.5 芸王グランプリ決勝大会 TOKYO-BAY ららぽーと
5.7 消えゆく与論島の「洗骨」習俗	5.5 ヘブンアーティスト in 銀座
	5.10 チンドン西内隊ライブ ライブハウス・江古田パティ
5.11 青鉛筆：まりもっこり、大ブレイク	5.13-14 日立国際大道芸
	5.15 熊野学会「熊野」をめぐる芸能 明治大学アカデミーコモン 出演：尺八、琵琶、絵解き「熊野観心十界曼荼羅」、説経節「小栗判官」、義太夫「阿波鳴門」
	5.15 中村勘三郎、全国芝居小屋巡演 秋田・康楽館-岐阜・白川町東座-中津川・明治座-熊本・山鹿・八千代座-直方・嘉徳劇場-琴平・金丸座-内子座-瑞浪・相生座-名古屋・中村区小学校体育館
	5.19 浅草に芝居小屋を、勘三郎が呼びかけ
	5.23 藤山晃太郎、手妻(和妻)継承、出世披露 三越劇場で5.24
	5.24 「中西和久のエノケン」紀伊国屋ホール 5.28まで
	5.27 R-15 人形劇、平常(たいらじょう)ブーク劇場でテラヤマ作品

5.29 芸術選奨の画家・和田義彦、盗作	5.27-28 CA Sound Performance vol.3 SPIRITS シアターX
6.1 2005年の出生率が過去最低の1.25と厚生省発表	6.1 ドキュメンタリー映画プージェー、モンゴル少女と関野吉晴との交流
6.2 社説：解放同盟、同和利権を見直し、原点に戻れ	
6.3 シンドラー社のエレベーター、誤作動で高校生死亡	6.3-4 韓国民俗音楽の声の技「柳錦仙」 神楽坂セッションハウス 2F
6.5 村上ファンド、村上世彰社長が証券取引法違反容疑で逮捕	6.7 紙芝居で伝える親子のふれあい 錦糸町オリナス 横江英之さん
6.9 FIFAワールドカップ・ドイツ大会開催（～7.9）	
6.10 デパート屋上、改装。庭園や犬の運動場	6.10 リアルジャグリング2006 こまばエミナース 出演：KAZUHO、矢部亮、桔梗崇・篤、進藤一宏、青木康明、森田智博
	6.12-13 KAMIYAMA ソロライブ「玩具狂想曲」シアターX
6.15 現在学としての民俗学 ①地域の暮らし激変 /②実用追求	6.16-17 九州チンドンまつり 福岡市唐人町アーケード
6.16 映画の海賊版サイト、著作権団体が調査、/洋画DVD500円	6.17 第22回〈東京の夏〉音楽祭 テーマは「大地の歌・街角の歌」
6.20 官房長官・安倍晋三、統一教会に祝電	
6.20 夕張市財政再建団体に指定	6.22-24 ダメじゃん小出ソロライブ 浅草木馬亭
	6.24 堀の中のジャグリング 門仲天井ホール 出演：矢熊進之助、マジカルTOM、目黒陽介、ひろ、chie、鶴岡アキラ、SOBUKI、じゅーむず今川、江原啓太
	7.1 著者に会いたい：坂入尚文さん『間道』
	7.3 野宿から再起、ピアニスト・合田清さんCDデビュー
7.5 北朝鮮のミサイル、日本海に着弾	7.7Around the World：シルク・ドゥ・ソレイユ ビートルズ体験（西元まり）
7.14 日銀、ゼロ金利政策解除	7.13 「生き人形と江戸の欲望」展、江戸東京博10.22まで
7.15 パロマ湯沸かし器、15人中毒死	7.16 うえの夏祭り、不忍池で7.17-8.6
	7.16-23 国際サーカス村ワークショップ 沢入国際サーカス学校
7.20 靖国のA級戦犯合祀、天皇が不快感、参拝中止	7.20 アクロバティック白鳥の湖 7.28-8.13 オーチャードホール
7.20 学のいま：芸術を社会で活かすアートマネジメント①想像力/②現場経験の還元	7.20 ラスベガスマジック 品川プリンス クラブeX
7.22 サマータイム実験 北海道で5年目好評、	7.21-22 沢入サーカス学校年度末公演 沢入サーカス学校体育館
7.25 イラク派遣の陸上自衛隊、日本に帰国	7.25-26 プレジャーBクラウン体験ワークショップ
	7.28-8.13 アクロバティック白鳥の湖 オーチャードホール 出演：広東雑技団
	7.29-30 スーパーパントマイショー「パーフェクトパントマイム」 彩の国さいたま芸術ホール 出演：京本千恵美、藍義啓 ほか
	7.30 第8回全国こども民俗芸能大会 日本青年館
8.4 オタク文化、フランスで花盛り ジャパン・エキスポ	8.4-6 六本木ヒルズ・アフリカン・ストリートフェス ジンバブエブラザーズ
	8.5-6 大道芸フェスタ in 神戸（鈴鹿市）
	9.9-16 日テレ ART DAIDOUGEI
	8.10 お化け屋敷、パワーアップ 富士急ハイランド、エキスポランドなど
8.11 京大・中山教授、マウスの皮膚からips細胞を作成と発表	8.11 五大路子一人芝居、「横浜ローザ」8.12-15
8.13 ユーカラの翻訳事業、打ち切りへ	8.12-27 河合コレクション・手品・マジック・サーカス展 大崎ゲートシティ
8.16 加藤紘一氏の実家、放火 安倍氏の靖国参拝批判の報復	
8.17 学のいま 江戸の文芸 岐路に/ キーワードは「降霊術」	8.19 ジャグる 廻す 舞わす 神奈川県共済みらいホール マサヒロ水野とやっしや鯛
8.20 高校野球・早実斎藤祐介・ハンカチ王子	8.20 よさこい全国大会で「ぞっこん町田」優勝
8.22 発明家・ニコラ・テスラ生誕150年	
8.23 米・タワーレコード倒産。iPodの普及に押されて	8.24 映画「男はつらいよ」どれが好きか？アンケート 板橋区
8.24 冥王星、惑星から矮惑星（準惑星）に格下げ	8.24 国立劇場太鼓公演「空海千響」林英哲 9.1-2
	8.25-9.18 シアターX国際舞台芸術祭 原爆能、仮面劇、平成田楽、ダンスなど
8.30 ディズニーランド誕生から半世紀「永遠の夢の国」（寄稿・有馬哲夫）	8.27 ちんどん菊乃家外伝 ちんどん屋と街角の芸能 木馬亭
	9.1-3 ナランハファイヤーフェスティバル 三河大島
	9.2 第8回ながの大道芸フェスティバル
	9.2-3 第6回サッポロ・パフォーマンス・カーニバル
	9.3 パントマイムロス・さよならサマーフェスティバル 晴海トリトン
9.6 秋篠宮家に男子誕生、皇位継承3位	9.6 角野卓三、テキヤに 文学座「ゆれる車：九州テキ屋旅日記」9.14-24
	9.8-9 山本光洋ソロライブ「かかしになるために」planB
	9.9 大須アマチュア大道芸コンテスト 大須ふれあい広場
	9.10-11 ファンタ・スティック2006 東京スポーツ文化館
	9.11-12 ヘブンアーティスト公開審査 都庁前広場
	9.13 窓：大阪に落語定席誕生 天満天神繁昌亭9.15オープン
9.17 としまえん、開園80周年祭 9.16から	9.16 水俣病告発の一人芝居「天の魚」故・砂田明の弟子・川島宏知が継承
9.19 タイでクーデター発生	9.16-18 OSAKA エンタフェス OTCおよびWTCの各スポット
9.22 日の丸・君が代の強要は違憲。（東京地裁。高裁、最高裁では逆転判決）	9.22 緒方拳、一人芝居「白野」10.14-17
	9.23 ダメじゃん小出の黒く塗れ！vol.1 野毛シャール

	9.23-24 ナランハジャグリングまつり ジャグリングショップ ナランハ
	9.24 第8回月潟大道芸フェスティバル
	9.25 遊行かぶき「小栗判官と照手姫」9.28-10.1
9.26 小泉内閣総辞職。安倍晋三内閣誕生	9.27 NHK-BS 芸は旅の空で：伊勢大神楽（再放送：10.9）
	9.27-28 シルヴブレイブ「立秋のダンディズム」 中野テルブシコール
	9.29-30 キュー手塚ソロライブ「再会」 銀座小劇場
	9月 天保山ワルト・パフォーマンスフェスティバル 海遊館イベント広場
10.3 オリエンタルランド06年上半年入園者3.3%増 1204万4千人	10.2-5 「ジンターランド・大工哲弘とちんどん通信社」発売記念ライブ 吉祥寺・名古屋・京都・大阪のライブ連続公演
10.3 豊洲「新生」ららぽーと5日開業/豊洲再生急ピッチ/キッザニア開業	
	10.6 「ニッポンクレスマー」発売記念ライブ 吉祥寺 MANDA-LA2
	10.7 第5回若松若太夫独演会 板橋区郷土芸能伝承館
	10.7 団塊はいま：プチャリン中島さん
	10.7-8 東京・町田大道芸
	10.7-9 ジャパン・ジャグリング・フェスティバル 利根ピック記念センター
	10.8 ヘブンアーティスト in 新宿 /10.8 in 人形町 /10.9 in 丸の内
	10.8 第10回九州大道芸フェスティバル in 宗像
10.9 北朝鮮、核実験を強行	10.9 ギリヤーク尼ヶ崎青空舞踊公演 新宿・三井55広場
	10.12 脱サラ路上演奏家・中村健佐さんコンサート 10.14
	10.12 Don't be funny! プレジャー企画内Wテイク
	10.12-13 第18回全国座長大会 浅草公会堂
10.14 横浜・氷川丸とマリンタワー営業終了	10.14-15 第29回名古屋・大須大道町人まつり
	10.14-15 湘南江ノ島秋まつり
	10.14-15 千住エキゾチックフェア
10.17 国立科学博「化け物の文化展」11.12まで	10.14-15 川越まつり
10.22 政府の月例経済報告で4年10か月連続景気拡大と発表	10.21-22 東京・三茶 de 大道芸
	10.21-22 ヨコハマ大道芸
	10.27-29 ヘブンアーティスト TOKYO 上野公園
	10.26 藤山新太郎「蝶のたはむれ」復元
10.31 大英博物館日本ギャラリー 応挙・原爆・鉄腕アトム	10.31 朝鮮通信使パレード、日本橋で再現
	11.2-5 第14回大道芸ワールドカップ in 静岡
	11.4-6 21世紀紙芝居「蛇蝎姫と斬鬼丸」仙台市民活動センター
	11.4/11.16/11.28 新宿花園神社西の市・見世物「大寅興行」
	11.5 吉本、浅草で定期公演 60年ぶり 5656 会館
	11.8 NY 地下鉄歌手・スーザン・ケイグル 東京駅ライブレコーディング
	11.10 I rimemer 異才伝マルセ太郎①～④
11.11 プレイステーション3が発売	11.11 見世物学会総会 麻布十番温泉 アジアをまたぐ露店（岩谷彩子）
11.15 平城京跡から絵馬出土、天平3（738）ごろ	
11.15 劇作家ら著作権延長（50年から70年）に反対表明	11.16 中国文化フェスティバル 10.17 から、音楽、映画、舞台、雑技
11.17 地方映画祭、曲がり角。自治体の財政難が直撃	11.17 フィリップ・ドックフレ、ソロ公演。天王洲銀河劇場 11.25-30 /12.4 評
11.18 動画投稿サイト、人気	
11.22 日本庭園、新たなブーム	11.23 ちんどん菊乃家みやまつ座、木馬亭で公演 11.25
11.22 仕事体験テーマパーク、キッザニア、人気	11.26 第56回全国民俗芸能大会 日本青年館 出演：伊勢萬歳、佐渡春駒、秋田萬歳
11.28 石原都知事、四男、公費出張問題 /12.7 公費不明朗支出	11.27 蟬人形 400体、資金切れ、制作会社シーピーエー、花輪清隆社長
	12.4-14 回想 論壇/ 文芸/ 美術/ 映画/ 放送/ 舞踊 / クラシック音楽/ 演劇
12.7 文化：オクストラとりまく経営状況 公益性を語る努力（寄稿・片山泰輔）	12.7 ジャズ喫茶、終章 横浜ちぐさ 今月限り
	12.8-9 ダメじゃん小出ソロライブ負け犬の遠吠え 内幸町ホール
12.12 三百人劇場が最終公演 「八月の鯨」12.14-22	12.12-23 浅草の灯よ：①ビートたけし～ ⑩萩本欽一
12.14 タウンミーティング「やらせ」/社説：こんなショーはいらない	12.15-16 山本光洋ソロライブ「かかしになるために」 planB
	12.24 伊勢大神楽・増田神社奉納総舞 桑名・増田神社
12.30 イラクのフセイン元大統領の死刑執行	12.30 代々木ブーク劇場、年越し公演 R-15 人形劇 平常さん
	12.31 振り返る 2006
※この年のピック	
10 大ニュース：①堀江元社長、村上前代表を逮捕 ②安倍晋三内閣発足 ③日銀が量的緩和を解除 ④3 知事が汚職・談合で逮捕 ⑤秋篠宮家で男児出産（悠仁親王） ⑥いじめ自殺、各地で続発 ⑦秋田で小児の連続殺人事件 ⑧荒川静香、トリノ五輪で金メダ	文化勲章に、吉田秀和 文化功労者に、高倉健、栗山昌良、黒川紀章、朝倉摂、中村芝翫、丸谷才一、山崎正和 旭日中綬章に、芦田惇、池坊専永、小川国夫

<p>ル ⑨小泉首相終戦記念日に靖国参拝 ⑩日本の人口、減少傾向に</p> <p>ヒット商品：クリスピー・ドーナツ、花畑牧場キャラメル、ハウスカップシチュー</p> <p>流行語大賞：「イナバウアー」「品格」「ハンカチ王子」「脳トレ」「ミクシィ」</p> <p>今年の漢字「命」</p> <p>野球 日本ハムファイターズ優勝</p>	<p>紫綬褒章に、吉永小百合、梅若六郎、片岡仁左衛門、沢井信一郎、山本則直、川口ゆり子、津川雅彦、阿木耀子、鶴沢清治、麻実れい、宮城谷昌光、桂三枝、小栗康平</p> <p>芸術院賞に坂東三津五郎、野村四郎、辻井喬</p> <p>芸術選奨文部大臣賞に、爆笑問題、串田和美、犬童一心、山本則直</p>
<p>ベストセラー：『国家の品格』（藤原正行著、新潮社）、『ハリー・ポッターと謎のプリンス』上下（J.K.ローリング著・松岡佑子訳、静山社）、『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』（リリー・フランキー著、扶桑社）、『えんぴつで奥の細道』（大迫閑歩書、伊藤洋監修、ポプラ社）、『病気になる生き方』（新谷弘実著、サンマーク出版）、『おいでよ どうぶつ森 かんぺきガイドブック』（ファミ通書籍編集部著、エンターブレイン）、『人は見た目が9割』（竹内一郎著、新潮社）、『新・人間革命』15・16（池田大作著、聖教新聞社）、『子育てハッピーアドバイス』1.2.3（明橋太二著、1万年堂出版）、『鏡の法則 人生のどんな問題も可決する魔法のルール』（野口嘉則著、総合法令出版）</p> <p>映画 「ハリー・ポッターと炎のゴブレット」（マイク・ニューウェル監督）、『バイレーツ・オブ・カリビアン〜デッドマンズ・チェスト』（ゴア・ヴァービンスキー監督）、『ダ・ヴィンチ・コード』（ロン・ハワード監督）、『グッド戦記』（宮崎吾郎監督）、『LIMIT OF LOVE 海猿』（羽住英一郎監督）、『ナルニア国物語 第一章：ライオンと魔女』（アンドリュー・アダムソン監督）、『THE 有頂天ホテル』（三谷幸喜監督）、『日本沈没』（樋口真嗣監督）、『デス・ノート the Last name』（金子修介監督）、『ミッション・インポッシブル III』（J.J.エブライムス）</p> <p>ヒット曲 「Real Face」（KAT-TUN）、「粉雪」（レミオロメン）、「青春アミーゴ」（修二と彰）、「抱いてセニョリータ」（山下智久）、「SINGLE」（KAT-TUN）「ただ…逢いたくて」（EXILE）、ほか</p>	<p>書籍 『声に出して楽しみたい大道芸』（源吾郎著、岩崎電子出版）、『乞胸：江戸の辻芸人』（塩見鮮一郎著、河出書房新社）、『大道芸人の未解決人生』（バクバクリゅうじ著、ブイツーソリューション）、『道行く大神楽：獅子舞と曲芸の芸能史』（宮尾與男著、演劇出版社）、『日本大神楽事典』（柳貴家勝蔵著、彩流社）、『中世の旅芸人：奇術師・詩人・楽士』（ヴォルフガング・ハルトゥング著、井本响二・鈴木朝衣子訳、法政大学出版局）、『伊六万歳』（名古屋民俗芸能研究会編・刊）、『問道：見世物とテキヤの領域』（坂内尚文著、新宿書房）、『小沢昭一的新宿末広亭十夜』（小沢昭一著、講談社）、『日本の放浪芸 オリジナル版』（小沢昭一著、岩波現代文庫）、『十九世紀日本の園芸文化：江戸と東京、植木屋の周辺』（平野恵著、思文閣出版）、『芝居小屋と寄席の近代：「遊芸」から「ぶんか」へ』（倉田喜弘著、岩波書店）、『精選社会風俗資料集 第1巻 変態見世物史』（藤沢衛著、紀田順一郎監修・解説、クレス出版）、『ろんちゃんふうらいぼうサーカスだん』（おきりゆうすけ さく、たのひろこ え、龍の子企画、東洋書院）、『横浜トリエンナーレ 2005 ドキュメント：アートサーカス「日常からの跳躍」』（横浜トリエンナーレ組織委員会）、『もしもねこがサーカスにいったら』（石津ちひろ 文、ささめやゆき 絵、講談社）、『ポリショイサーカス：ユーラシアブックレット no.100』（大島幹雄著、東洋書店）、『サーカス：起源・発展・展望』（エウゲニイ・クズネツォフ著、桑野隆訳、ありな書房）、『サーカス（架空社 1996 年刊の増訂）』（たかべせい いち作、講談社）、『ダレン・シャン 1（奇怪なサーカス）』（Darren Shan 作、橋本恵 訳、小学館）、『どうぶつサーカス始まるよ』（西村敏雄著、福音館書店）、『チンドン屋！幸治郎』（林幸治郎著、新宿書房）、『鯨の華：私の中の説経節』（松林浄蓉著、利根川幸也刊）、『初代若松若太夫：哀切なる弾き語り』（東村山ふるさ と歴史館）、『漂泊者の芸能』（園田学園女子大学歴史民俗学会編、岩田書院）、『ジャグリング情報誌「ジャグバル」32号-35号、「特集・神彰とアートフレンド」（『アートタイムズ』1号）「路上の世界に破片を拾うー大道芸の目線」（野村雅一、『人間文化』大学共同利用機関法人人間文化研究機構）、「文学に見る障害者像 キャサリン・ダン著「見世物芸人の愛情」（ケニーフリース著、長田こずえ訳、『ノーマライゼーション』8月号）、「禁じられている見世物小屋のリスト」（小林信彦著、「桃山学院大学総合研究所紀要」3月号）、</p> <p>CD&ビデオ 「＜映画＞奇妙なサーカス」（園子温監督、脚本、セルディックインターナショナル）、CD「I」11 take that CHING-DONG JAZZ music（ちんどん通信社）、「洋楽渡来考」CD&DVD 版（皆川達夫監修、日本伝統文化財団）、「四条の橋から：みやこ遊びうた」（重森三果、オーマゴドキ）、「ジントラランド・大工哲弘とちんどん通信社」（オフノート）、「ニッポン・クレズマー」（Freylekh Jamboree、喇商会）</p>
<p>物故 1/6 漫画家・加藤芳郎（80）、1/14 社会学者（メディア論）・中野収（72）、2/5 経済学者・都留重人（93）、2/8 作曲家・伊福部昭（74）、2/17 詩人・茨木のり子（79）、2/24 脚本家・佐々木守（69）、3/9 文化人類学者・米山俊直（75）、3/21 作曲家・宮川泰（75）、4/3 作家・村上元三（96）、4/3 元アナウンサー・エッセイスト・絵門ゆり子（49）、4/29 経済学者・「不確実性の時代」・ガルブレイズ（97）、5/6 アイス初の国会議員・萱野茂（79）、5/7 写真家・並河萬里（74）、5/10 国会議員・グラマン事件・松野頼三（89）、5/25 ロシア通訳・作家・米原万里（56）、6/13 指揮者・岩城宏之（73）、6/21 歌人・近藤芳美（93）、7/1 元首相・橋本龍太郎（68）、7/31 作家・吉村昭（79）、7/31 社会学者・鶴見和子（88）、8/25 作曲家・高木東六（102）、9/4 歴史家・阿部謹也（71）、9/16 評論家・上之郷利昭（69）、9/26 作曲家・市川昭介（73）、10/1 まんが評論家・米沢嘉博（53）、10/26 作家・小島信夫（91）、10/26 国文学者・白田甚五郎（91）、10/30 劇作家・木下順二（92）、10/30 漢字研究・白川静（96）、11/1 『フィアの選択』作者・ウィリアム・スタイロー（81）、11/10 漫画家・はらたいら（63）、11/11 公害研究・宇井純（74）、11/14 アナウンサー・渡辺謙太郎（75）、11/20 精神科医・エッセイスト・斎藤茂太（90）、11/23 作家・灰谷健次郎（72）、11/24 演芸評論家・永井啓夫（79）、12/13 松竹会長・永山武臣（81）、12/20 前都知事・放送作家・青島幸男（74）、</p>	<p>物故 2005.12/31 芸能プロデューサー・麻生芳伸（67）、1/2 元中日監督・近藤貞雄（80）、1/2 氷河でスキー・三浦敬三（101）、1/7 歌舞伎演出・戸部銀作（85）、1/16 漫談家・ローカル岡（62）、1/22 童謡歌手・川田正子（71）、1/29 ビデオアーティスト・ナム・ジュン・パイク（73）、1/10 沖縄舞踊・太鼓・島袋光史（85）、2/9 元巨人監督・藤田元司（74）、3/2 テレビ演出家・久世光彦（70）、3/10 華道家・安藤瞳子（69）、3/12 劇団「新制作座」・真山美保（83）、3/22 落語家・三遊亭円右（82）、4/1 カーナビーツ・アイ高野（55）、4/1 元漫才師・松本竜助（49）、4/12 映画監督・黒木和雄（75）、4/29 落語家・三遊亭円弥（69）、5/7 声優・曾我町子（68）、5/7 歌手・松山恵子（69）、5/18 俳優・田村高廣（77）、5/29 俳優・岡田真澄（70）、5/29 元関脇・鶴ヶ嶺（77）、5/30 映画監督・今村昌平（79）、6/8 演出家・西木一夫（78）、6/23 元大関・北天佑（45）、6/24 俳優・川合伸旺（74）、7/2 俳優・七尾伶子（81）、7/12 デキシーキングス・蘭田憲一（76）、7/14 元巨人軍・八時半の男・宮田征典（66）、8/23 コメディアン・関敬六（78）、9/14 元女優・竹久千恵子（94）、9/24 文楽人形遣い・吉田玉男（87）、9/24 俳優・丹波哲郎（84）、9/30 俳優・多々良純（89）、10/4 映画監督・田中登（69）、10/9 元東武動物公園長・西山登志雄（77）、10/10 落語家・柳家小せん（83）、10/11 能楽師・粟谷菊生（83）、10/20 俳優・藤岡琢也（76）、10/22 コメディアン・ぼつてん荒川（69）、10/26 プロレスラー・大木金太郎（77）、11/3 クールファイブ・内山田洋（70）、11/18 俳優・中谷昇（77）、11/17 講師・神田伯龍（80）、11/28 俳優・小田切みき（76）、11/29 映画監督・実相寺昭雄（69）、12/17 俳優・岸田今日子（76）、12/25 ソウルの帝王・ジェームズ・ブラウン（73）</p>